



平成 29 年 9 月 7 日
海事局船舶産業課

日本の支援により、ASEAN において 「低環境負荷船の普及戦略」の検討が始まりました！

国土交通省は、9 月 6 日、ASEAN における低環境負荷船の普及戦略（ASEAN グリーンシップ戦略）の策定を目的として、マレーシア・クアラルンプールにおいて初の実務者会合を開催しました。会合では、船舶に関する低環境負荷技術とその普及政策の紹介や、ASEAN グリーンシップ戦略の骨子を検討し概ね合意しました。今後、実務者会合を 2 回程度開催し、平成 30 年度中に ASEAN グリーンシップ戦略の原案をとりまとめる予定です。

【背景】

東南アジア 10 か国*からなる ASEAN は、近年、高い経済成長を遂げています。平成 27 年の ASEAN 経済共同体の設立により、今後、域内の連結性が改善し、海上輸送量が増大することが見込まれる一方、船舶からの CO2 排出量の増加等が懸念されています。

また、ASEAN では、老朽化した船が多く使われています。老朽化した船は燃費が悪く、運航に伴い多くの CO2 を排出しますが、これを低環境負荷船へ代替することや、適切なメンテナンスを行うこと等により、船舶からの CO2 排出量を抑制することができます。

こうした背景から、ASEAN は、平成 27 年にクアラルンプール交通戦略計画（KLTPSP）をとりまとめました。この計画では、平成 30 年までに低環境負荷船の普及戦略（ASEAN グリーンシップ戦略）を策定することが定められています。ASEAN グリーンシップ戦略では、ASEAN における内航海運や造船技術等の実情を踏まえ、低環境負荷船を効果的に普及させるための方策をとりまとめることとしています。低環境負荷船の普及は、船舶の近代化にも繋がるため、船舶の安全性向上への寄与も期待されます。

一方、昨年 11 月に開催された第 14 回日 ASEAN 交通大臣会合において、上記の ASEAN グリーンシップ戦略の策定を我が国が支援するプロジェクト（低環境負荷船普及促進プロジェクト）が承認されました。国土交通省としては、我が国造船業・船用工業の高い技術力を活かし、実務者会合を開催して戦略の策定を支援することとしています。

※ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム

国土交通省は、9 月 6 日、低環境負荷船普及促進プロジェクトの一環として、ASEAN グリーンシップ戦略の策定に向けた具体的な内容を検討するための第 1 回実務者会合をマレーシアと共同で開催しました。第 1 回実務者会合の結果については、別紙をご参照ください。

【問い合わせ先】

国土交通省海事局船舶産業課国際業務室 高木、伊藤 (43-644、43-612)
TEL : 03-5253-8111 直通 : 03-5253-8634 FAX : 03-5253-1644